



たんぽぽ

発行 第85号 2010. 2. 15
神愛保育園 “子育てひろば”
〒135-0004 東京都江東区森下 3-10-7
Tel : 03-3633-1580

PMのひだまりにて
オンステージ!



先月のことになりますが、お茶の水女子大元学長の本田和子先生のお話を伺う機会がありました。先生は少子化対策を打っても子どもは増えないとおっしゃいます。子どもは近代化の推進とともに減ってきていて、近代化社会は子どもは生まれにくいものだという事実があると。

先生のお話の中で特に心に響いたのは『すべての大人に子どもと触れる機会を作る』というところでした。先生は「日本は子ども嫌いの大人、社会になりかけているのではないか」と問いかけます。幼い子どもに触れ合うことなく大人になっていく人たちの何と多いことでしょう。

子どもと触れ合うことがなければ子どもってどんな存在なのかもわからないと思いますし、〈わからないこと〉を理解するのは難しいことです。かつては自分も子どもだったことを思い出し、幼いかわいい子ども、でも時には怪獣にさえ見えることもある子どもと触れ合う機会を作ることは、社会として子ども理解を進めていくうえで、とても大切なことだと思います。

神愛保育園では、次世代育成ということで夏休みに「小・中・高校生に幼い子どもと触れ合う機会」を作っていますし、保育士の実習生もたくさん受け入れています。もっと必要なことは、〈どんな職種、どんな学部の学生でも、少しでも子ども理解を進めたいと思っている大人を喜んで受け入れる〉ことだと思います。そんな機会は私たちが思っているだけではなかなかやっとなかかもしれませんが、もし、身近にそんな人がいたらぜひご紹介ください。他に何かアイデアがあったら教えていただきたいとも思っています。子どもにやさしい社会へと少しでも進めていくために力を貸して下さい。ちなみに本田先生は、「絵本などの児童文学を大人とこどもの媒介に!」とおっしゃっていました。

園長 伊藤美代子

ほんま(り)な話



10ヶ月の息子の得意技は
ひき笑い。ひい〜と
ひき笑いでの会話ができます。将来は
さんまさんを越えるひきわらい芸人になるか?
早く普通の笑いをマスターして
欲しいママより♡



にんまり番外編

Tくん「ママだっこだ。」と
せがまれて...「あと何年
だっこせがまれるんやろ〜」と
下さん。

「そのうち、たのんだて 近く
にすう寄ってきてくれなく
なるわよ〜〜」と ぬ。

普段スカートをはかなくなってきた
私がスカート久しぶりにはいた時
息子が「ママ可愛い♡」ととても
うれしそうに抱きついてきました
たまにはスカートはかなきゃね。



風呂上がり化粧水をつけていると、4才の
長男が「ほくもやりたい」やタペタと顔につけて
「ほった。ぶにぶに〜」と御満悦。
「ママのもさわらせて。」「エッ?!」私のほおに
ふれると一瞬の間とビビョンな表情。そして
「...ママの、ぶにぶに〜」本音と建前を
使い分けた、息子の成長と自らの肌
衰えを痛感しました...



怒りすぎてしまった後に、3才と1才(当時の)
息子達が「ママ〜」悪かったな、と思って
いるのに、口からは「何ッ?!」とキツ〜い声か。
振り返ると、両人さし指をほおにあて、
「にっ、にっのかげ声で左右に首をかしげる
2人の姿がありました。子供の方が大人で、
心の中で「やう来たな」と思いました。



家族で赤ちゃんの頃の
ビデオを見ていた5才児
「あの頃のオレは
幸せだったんだよね」
抱っこしているおじいちゃんを
見て
「じいじ、新しいんだね
今ほろくなっちゃったね」
直球な言葉だけどもみませ



ある日のこと。(^_^)

長女(14才)と長男(11才)が取っ組みあいのケンカ
をはじめました。そこで3才の二女は、
「すかすか。どちらをかばうわけでもなく、たいていおろ
それは やらないのよ!」と二人をなだめ、
みごとその場をまろくおさめてくれたのです。
最後は満面の笑み。



困ったときの コットンショップ リラ

江東区常盤
2-9-5
木曜定休日
3631-6557

入園、入学時の レッスンバック、シューズ袋
など 手作り物の 救世主

コットンショップ リラ
自分では、どうしても... という方は
オーナーさん自ら作って下さる
システムあり。(1000円から)



おもちゃ王国

寒いから公園はキツイな〜、というときは、東京ドームシティにある、
「おもちゃ王国」へ。三田線水道橋駅直結なので、雨でも平気です。
トカにプラレール、リカちゃん、シルバニアファミリー、おままごと。
Beenaは20台位置いてあります。ブロックも木のおもちゃも沢山
あって、「おもちゃ屋さんが丸ごとあって、好きなだけ遊べる!」
と、子どもにとって、正に夢の国でした。今月中は入場料が
200円引きで、土休日も制限時間が無いので、試しに足を
運んでみる良い機会かもしれません。

ベビーカーは持ち込めないで、外の置場へ。再入場できません。
中に飲物、アイス、お菓子、パンの販売機はありますが、食堂は
ありません。サンドイッチやおにぎりBoxは、あたり、なかつたりする
ので、お昼は持っていった方が安心です。4割は購入時からの
時間になるので、入る直前に買って出るまでなくさないように要注意。



おもちゃ王国
03-3817-6112
春日、後樂園、水道橋駅下車

入場料(3時間)3才〜小学生700円、大人1000円。土休日は延長料金あり。

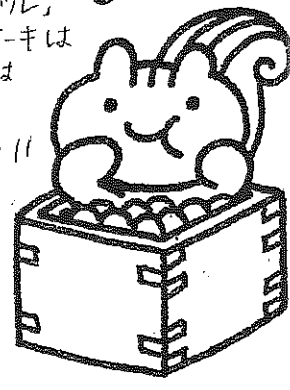
和船に
乗ってきました!
赤ちゃんも眠ってしまおうよ。
船頭さんの言葉通り、
ゆったりとした揺れに
身を任せて、のんびり
できます。乗客を飽きさせ
ないように(?)、こぎ手の
方々は話も唄も
大サービスしてくれます。
2月までは日曜開催
なので、パパも一緒に
海砂橋のたもとまで。
(10:45〜13:00)
クローバー橋方向に行くと
水上アスレチックがあり、
そこでも遊べますよ。

カフェ

子どもと一緒に茶を飲みたいときにおすすめなのが、扇橋公園裏の「ヨーテール」
2本目の小道を曲がってすぐ、カワイイ外観のお店です。約20種類のケーキは
どれも小ぶりでもカット300円前後。コーヒーとのセットは550円。紅茶は
プラス50円。ホットで来ます。子供はケーキのみでもOKです。

2階は白を基調とした明るい雰囲気です。スペースに多少余裕があるので、
子ども連れはこちらで。予約なしだとお断りのこともあるので、電話してから
行った方が良いでしょう。

毎月最終土曜日には月替りで2〜3種のケーキがなんと!半額になります。
テイクアウトで大人お一人様10個まで。お昼前に売り切れになることが
多いようですが、開店時間に行けば十分間に合いますよ。
「ヨーテール」石島14-1 03-3645-0169 9:30〜20:00 年中無休





ひだまり予定表

2月				
月	火	水	木	金
1	2	3	4 すこやか測定	5 食事会
8	9	10	⑪ 建国記念の日	12 共催青空保育
15 プレママ⑧	16	17 食事会	18	19
22	23 誕生会	24	25 おしゃべりタイム	26

3月				
月	火	水	木	金
1	2	3	4 すこやか測定	5 食事会
8	9	10	11	12 青空保育
15 プレママ⑧	16	17 食事会	18	19
⑫ 春分の日	23 誕生日会	24	25 おしゃべりタイム	26
29	30	31		

非定型一時保育を利用しよう！

通院や、急な冠婚葬祭はもちろん、リフレッシュでも、一時的に保育園に預けることができます！

定員に限りはありますが、もしものときに利用してみたいはいかがですか？

利用条件や時間帯など詳細は直接下記の実施保育施設に問い合わせてください。

【実施園】 ☆申し込み 実施園へご連絡ください

・0歳児より実施（生後6ヶ月以上）

まこと保育園 ☎3641-1428

潮見保育園 ☎5632-1304

・1歳児より実施（当該年度4月1日現在）

子どもの村保育園 ☎3641-1022

愛隣シャローム保育園 ☎3645-5855（専用）

ひまわりキッズガーデン豊洲 ☎3532-4114（専用）

ひまわりキッズガーデン有明 ☎3527-6219（専用）

アゼリア保育園 ☎3645-0484

ともしび保育園 ☎3644-2747

☆利用時間 原則日中8時間

☆保育料 0歳児

1日4000円/半日2000円

1歳以上

1日3000円/半日1500円

☆この他形態は異なりますが、

江東区子ども家庭支援センターでも一時預かり（リフレッシュひととき保育）を実施しています。

事前登録の上でのお申し込みとなります。詳しくは各センターまで。（東陽、深川北、大島、南砂）

ひだまり案内板

・2月20日(土)父親講座 10時～ひまわり組保育室にて
講師 トミヤス智子さん(アトリエカブラ主宰)

「こどものあそびーカブラで遊ぼうー」

普段ひだまりに来る機会の少ないお父さんにも、母子の遊び場であるひだまりを知ってもらいたいという思いで、昨年に引き続いての父親講座を企画しました。

ぜひご家族でひだまりに遊びに来てください！

* 講座後は13時までいつものようにひだまりを開放します。
お弁当持参で、ご家族でひだまりランチ♪はいかがですか？

・今年度の体験保育は3月の第3週までの受付となります。
毎週木曜日に受付しています。ご希望の方は一週間前までにスタッフまでお声がけください！

・今年度の食事会も残り3回となりました。
2/17(水)、3/5(木)、3/17(水)です。
1歳半以上のお子さんが対象のプログラムです。
ふるってご参加ください！！

・2月15日から1週間、保育園では生活発表週間として、園児の日頃の園生活の様子を写真や作品などを展示紹介しています。遊びにいらした際はぜひご覧ください。

1月下旬になって、保育園の年長の子どもたちは、就学に向け生活リズムを徐々に変えていくため、お昼寝をしなくなりました。なのでいつものようにパーテーションは閉まっているものの、その隣にはごそごそと遊ぶ年長の子どもたちの気配を感じつつ・・・「お兄ちゃんたち寝てるから静かにしようね」といういつもとは少し違うひだまりの午後の時間が流れています。(もう少しすると、幼児クラスのお部屋のお引っ越しもあり、今はつかの間の状況ですが・・・)そして、毎日3・4人の男子たちが「〇〇来てる？」とそれぞれのお気に入りのひだまりの子どもたちのことを気にしてひろばに遊びに来てくれます。いつもは安松や町井さんに「おぼさ～ん」なんて暴言を吐いてばかりいるやんちゃ坊主たちが、「はい、ダメでちゅよ～」なんて言いながら小さい子たちとかかわっていたり、言うことを聞いてもらえず困り顔をしていたり(笑)そして、次第にお世話よりも自分たちの遊びに夢中になって遊び込みはじめたお兄さんたちの傍らで、じーっと覗き込んだり、真似してみたりするひだまりの子どもたちの姿も・・・。ママたちとのおしゃべりも大好きな男子たち。ママたちのティータイムにお邪魔して、あ～だこうだと生意気なことを言いながらも、ちらちらと甘えん坊の笑顔を見せる子ども達です。こんな風景をみながら、ちょっと賑やかだけど「いい時間だな～」としみじみ思っています。園児と地域が互いに受け入れ受け入れられ、当たり前に通ごすこの優しい時間の中で育まれる“あたたかな関係”、まさに「ひだまり」そのものだなあと・・・♪

安松